

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2016年9月

## コミッティ活動

**COLLATERAL** : 担当 森田 ([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org)) / 洞口 ([khoraguchi@isda.org](mailto:khoraguchi@isda.org))

### コラテラル ワーキンググループ

9月28日、来年3月に欧州で証拠金規制対象となるVMのオペレーションに焦点をあてた「T+1」問題について、30社以上の参加メンバーによるコラテラル ワーキンググループが開催された。

会議では、最新版のRTSなど、EU当局から発表される資料に基づき、メンバーがどのように「T+1」自体を解釈しているか、そして各社内で既に検討が行われているであろう詳細なアプローチ方法について、多様な意見を得るためのオープンな意見交換が行われた。

参加者はまた、実際に「T+1」を厳守しなければならない場合に、限られた時間枠でのシステム向上、および異なるタイムゾーンのカウンターパーティーとビジネスを進める際の社内のポリシーに関し、オペレーション上、障害となる、またはチャレンジとなる点について、自由に意見交換を行った。

### 信託口を相手方とする取引に関するサブワーキング・グループ

9月29日、legal sub-groupメンバーが、VMプロトコル使用の可能性を含めたマージン規制の対象となる信託勘定を相手先とする取引について、ドキュメンテーション上の問題点について話し合いを行った。

### 代替的コンプライアンス／規制の同等性評価

CFTCは9月8日、金融庁の要請を受け、本邦の非清算集中店頭デリバティブ取引の証拠金規制に関する規制の同等性について検討するための会議を行い、関連会社間取引の扱いを除くすべてに関して同等性を認めた。

詳細 :

[Fact Sheet – Comparability Determination for Japan Uncleared Swap Margin Rules for Substituted Compliance Purposes](#)

[Federal Register – Comparability Determination for Japan: Margin Requirements for Uncleared Swaps for Swap Dealers and Major Swap Participants](#)

**REGULATORY/DOCUMENTATION** : 担当 森田 ([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

### ステイの決定の効力等を確保するための対応

8月11日に金融庁から公表された、一定の金融契約でのステイ条項を含めるための監督指針の改正を受け、Japanese Jurisdictional Module to the ISDA Resolution Stay Jurisdictional Modular Protocolの策定に向けた検討が、Jurisdictional Modular Resolution Stay Protocol Working Groupで開始された。

## コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

**2016 ISDA Annual Conference: The Future is Now: Implementing the Margin Rules for Non-cleared Swaps**

The Ritz-Carlton, Tokyo

10月27日

(英語と日本語によるコンファレンス／同時通訳あり)

**New ISDA Documentation and Protocols: Getting Ready for Margining Understanding the Margin Requirements for Uncleared Swaps**

10月28日

(英語と日本語によるコンファレンス／同時通訳なし)